



消防団

瑞穂町消防団だより

令和2年2月
第12号

発行:消防団広報誌編集委員

消防団活動写真



台風19号警戒

令和元年10月12日から13日にかけて関東地方へ接近した台風19号は、町内の土砂災害特別警戒区域に、警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始）、警戒レベル4（避難勧告）が発令される程の大雨となりました。各分団は、13日午前9時より警戒に入り避難警告、土のう作成積み上げ作業、冠水現場の排水作業、町内巡回、風散物の撤去等を行いました。

第一分団（長岡地区）

愛宕神社付近 冠水

第二分団（箱根ヶ崎地区）

都道166号 土砂崩れ

第三分団（石畑・武蔵野地区）

民家裏水路 泥濘

第四分団（殿ヶ谷地区）

住宅地道路 浸水

第五分団（元狭山地区）

駒形ポンプ場付近 冠水

近隣では、奥多摩町、日の出町で道路が崩落、立川市と日野市をまたぐ日野橋が多摩川の増水の影響を受け損壊、八王子市で土砂災害、といった数多くの災害が発生しました。

近年、自然災害は昔と変わりつつあります。自分の家は大丈夫だと思わず、早めの避難を心がけ迅速な行動をお願いします。

（担当 2分団）



土砂崩れ(都道 166 号)



道路崩落(奥多摩町)



橋脚の沈下(日野橋)

瑞穂町産業まつり

11月9日(土)、10日(日)にビューパーク競技場及びスカイホールにて第49回瑞穂町産業まつりが開催されました。広報活動の一環として消防団ブースを出展し、9日は第二分団、10日は第三分団が担当しました。団員募集のPR活動をはじめ、ポンプ車両の展示、防火衣を装着しての乗車体験、輪投げゲームを行いました。どちらも大変好評で時には行列ができることもありました。両日とも晴天に恵まれたこともあり、大勢の方々にご来場頂きありがとうございました。

また、10日に行われた農作物品評会では第三分団吉岡部長の出品した里芋が特別賞を受賞し、表彰を受けました。消防団の服装だったので消防団PRの一役を担えたかと思えます。

瑞穂町消防団は町内のさまざまな行事に参加しています。消防団ブースを見かけたら、是非お立ち寄りください。



吉岡部長！！

良い意味でのサプライズで、カメラが間に合わず、、、

(担当 3分団)



本部広報車引渡式

12月26日(木)に消防団本部へ広報車の引渡し式が行われ、町長から団長へ引き渡されました。広報車のベース車両として軽自動車を採用したことにより、狭い道も通れるので様々な場所での広報活動が今後可能になっていきます。また、コンパクトな車体で、女性でも運転しやすく、今後は女性消防団員の活躍の場がより一層増えていくと思います。

本来は出初式で住民の皆さまにお披露目する予定でしたが、あいにくの天候で屋内での式典となり、屋外で走っている姿を披露することができず、たいへん残念でした。3月には春の火災予防運動で町内を巡回していきますので、ぜひ皆さまにも見ていただけたらと思います。今後は火災予防運動での広報活動をはじめとし、災害時などの警戒活動でも広く活用して皆さまの安全を守っていきます。

(担当 本部)



可愛い真っ赤な軽自動車です！



町内巡回へGO！

歳末特別警戒

12月26日(木)～30日(月)にわたり瑞穂町内で歳末特別警戒を実施しました。期間初日には、第二分団の詰所にて、田村都議会議員、都丸福生消防署長、栗原副町長、関根団長などから激励のお言葉をいただきました。

平年に比べ、暖かい日もありますが、寒くなったこの季節は、暖房器具などを使用し火を使う機会が増え、加えて乾燥や風が強くなる気候の為、火災を予防する目的で、広報活動を行っています。

わが分団では、前分団長の発案で、消防団活動をアピールする目的で、管轄地区での広報活動を、ポンプ車から団員自らマイクを持って、肉声で声掛けを行っています。慣れていない人が多いため、たどたどしい広報となる事もありますが、そこは、ご愛敬お願い致します。夜間の活動となりますが、火災を防ぐ意味では、広報活動は意識付けを促す効果があるので必要です。

昨年(令和元年中)は、瑞穂町内での火災は10件でしたが、令和2年は、広報活動を通じて、火災の発生を少しでも減らしていきたいです。今後も、消防団活動のご理解をよろしくお願い致します。

(担当 1分団)



出初式

令和2年1月12日(日)に令和初の出初式が挙行されました。

午前中は、本部車両及び全分団のポンプ車で各町内や詰所等を巡回し広報活動を行いました。昨年末には、女性消防団員の広報車も新たに配備され、広報活動の車列に華が添えられました。

午後の式典は悪天候が予想されたため、長岡コミュニティセンターで屋内形式でした。残念ながら一斉放水等のプログラムは中止となつてしまいましたが、来年は新春の青空に五色の放物線を描けることを期待し、一年間気を引き締めて活動していきたいと思えます。

また、昨年の10月2日に火災による死者ゼロ一万五千日を達成し、約四十一年間にわたり火災による死者を出さずに活動できたことは、消防団活動をしてきた諸先輩方の努力をはじめ、住民の方々の御理解と御協力の賜物であると思えます。本年もより一層邁進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

(担当 5分団)



午前中は町内広報



令和初は屋内で挙行

文化財防火デーに伴う消防演習

1月26日(日)臨済宗福正禪寺にて、文化財防火演習が福生消防署・第一分団・第四分団の合同で実施されました。

文化財演習は瑞穂町内の指定文化財管理者様のご協力により行われる演習で、町の貴重な文化財を守る為、消防署隊・各分団が連携し迅速に消火活動を行うための演習です。

消火活動も立地等で様々に変化するため、各消防団員が不測の事態を想定し行動しなければなりません。

これは実際の火災現場でも同じなので、このような演習を行うことで、多様な災害現場でも迅速に対応出来るようにしていかなければなりません。

(担当 4分団)



急な階段を上がっていき一斉放水



送水中継



応援人員到着

福生消防署管内消防団員研修会

2月2日(日)午後2時30分より瑞穂ビューパーク・スカイホールの小ホールにて「福生消防署管内消防団員研修会」が開催され、福生市・羽村市・瑞穂町から200名を超える消防団員が集まりました。今回は講師に気象庁東京管区気象台調査官の大矢徹氏にお越し頂き、「気象災害から身を守るには」をテーマとし、自身の経験談を織り交ぜてわかりやすく講演をして頂きました。大矢徹氏の言葉の中で特に印象的だったのは、将来的な予測として今後極端な降水がより強く頻繁に発生し、土砂災害や浸水害、洪水害が発生するという点です。よって、自分の地域で起こり得る災害を事前に把握することの重要性を再認識しました。

また、「①疑わしいときは行動する②最悪事態を想定して行動をする③空振りは許されるが見逃しは許されない」という3つの積極的対応により、様々な気象情報を活用して、早め早めの対応を行いたいと思います。

来賓挨拶



3つの積極的対応
「プロアクティブの原則」



コロナウイルス対策に伴い、
全員マスクを着用

(担当 本部)